

好きなことを勉強できない
日本になるって本当？

大学院生と考える 日本のアカデミア の将来 2020.1.26

2020年1月26日(日) 13:00～15:50 (12:30開場)

朝日新聞東京本社読者ホール (最大200名)

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞本社2階 (都営地下鉄大江戸線築地市場駅「A2」出口すぐ)

対象

大学院生・大学生、将来大学進学をしたいお子さん・その親御さん、
学校の先生、教育・研究関係者、研究職の現状に興味をお持ちの皆さま

主催：Change Academia 後援：株式会社 Sandbox、株式会社 tayo、一般社団法人 beans

未成年・学生
無料

一般 500円



大学院生と考える 日本のアカデミア の将来 2020.1.26

自分のために、子どものために。
すなわち日本のために、学びを守らなくてはならない。

日本の研究の世界は、大学院生に対する経済的支援のあり方、女性研究者の少なさ、アカデミック・ハラスメントなど、さまざまな問題を抱えています。私たち Change Academia は、大学院生が直面する問題を通じて、日本のアカデミアと高等教育における問題の周知と改善を訴え活動している、大学院生主体の有志団体です。

半年超の活動を通し、この大学院生問題は「大学院生が大変」ということに留まらないことが分かりました。大学や研究のエコシステムが崩れたら、影響を受けるのは次に大学に入る世代や、大学で学び研究する権利のある市民です。現役の大学院生はもちろん、いま大学の外にいる方々ともこの問題を共有し共に考えて頂きたく思い、シンポジウムを企画しました。

大学院生の皆さん、そして大学院進学を視野に入れている大学生の皆さん。

学費や生活費の面で悩む人は少なくないと思います。「大学院が無料だったら迷わず進学するのに」と思っているとしたら、その声を形にしていきたいです。声のあげづらさを克服するために連帯し、低リスクに問題を可視化し、解決を目指しませんか。

未成年のみなさん、子育て中の親御さんや学校の先生方。

小学生も十年後には大学生です。いま、国立大の学費が突然に値上げされそうになっています。現役の大学院生・大学生も頑張っていますが、人口が少ない上に当事者期間が限られています。問題提起の発展のために、いま大学の外にいる方々とも連帯して、どうにか改善していきたいです。

PROGRAM

1. なぜ日本の大学院生たちは困窮？～「大学院生が大変」に留まらない～

そもそも研究って何？大学院生って何してるの？ / 国内の若い頭脳たちは、無給労働と生活費のためのアルバイトで疲弊。「大学院生が大変」に留まらないのはなぜ？ / 大学や大学院は「お金を払う親がいる人だけが来ればいい」のか？あなたは日本の公教育をどうしたいか？よりよい日本社会を作るために、各個人が出来ることについて、大学院生の視点で提案します。

2. 大学院生らによるパネル講演。～アカデミアの構造が生む問題とは？～

今のアカデミアの構造は、大学院入学前・在籍中・修了後、それぞれに問題を引き起こしている。実際はどうか。

- 菊池風花さん 東京理科大学 化学科第二部 (夜間) 4年生
『離島出身・夜間学部生の観点から「教育機会の不均等の現実」について』
- 石川洋行さん 東京大学 教育学研究科 博士課程大学院生
『アカデミック・ハラスメントの現況とその社会哲学的基礎づけの観点から』
- 熊谷洋平さん 海洋研究開発機構 JAMSTEC 特任研究員
『民間企業勤務経験のあるポストクの観点から「アカデミア人材の能力と大学院生のキャリアパス拡充」について』

3. 質疑応答、閉会の挨拶

大学院生、大学生、子育て中の親御さん、教育・研究関係者の皆さん、その他これから大学で学び研究する権利をもつ市民の皆さん、それぞれにできるアクションがあります。

PROFILE



山岸 鞠香

やまぎ まりか 1993 年生まれ。神奈川県相模原市出身。
Change Academia 発起人兼代表。Ecole Polytechnique 大学院修士課程 2 年数学専攻。理化学研究所 AIP 数理科学チーム研究パートタイマー。フランスで大学院に入学し、帰国後日本のアカデミアの構造の異様さが無視できなくなり、2019 年 5 月頃から意見発信を開始。問題意識を共にする大学院生たちと出会い交流するうちに、Change Academia という団体が発足した。大学院生として自身のテーマの数学研究を行う傍ら、団体代表として言論活動や公教育への問題意識向上のために草の根活動をしている。



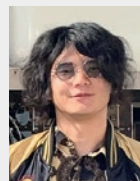
菊池 風花

きくち ふうか 1997 年生まれ。八丈島出身。
現在は東京理科大学 理学部第二部 化学科 4 年。研究テーマはウイルス感染症。高校卒業後進学のために上京し、来春からは研究者を目指し大学院へ進学する。
大学進学後、離島と都市部の間に蔓延る教育機会格差を痛感。出身地や家族構成により進学を断念せざるを得なかった身近な人達を見て、日本の高等教育へのアクセスを問題視している。



石川 洋行

いしかわ ひろゆき 1988 年生まれ。愛知県刈谷市出身。
東京大学教養学部卒業後、同大学院を経て、現在は東京大学大学院教育学研究科 博士後期課程に在籍。八洲学園大学他非常勤講師。専門は社会学史・社会哲学・消費社会論。研究テーマは 1980 年代のアイドル・広告表現、教育現象と暴力・ハラスメント、戦後現代詩等多岐に渉る。ピアニストとしての顔ももち、2020 年 7 月 26 日にはドビュッシー前奏曲集を中心としたコンサートを開催予定。



熊谷 洋平

くまがい ようへい 1991 年生まれ。東京都品川区出身。
東京大学大気海洋研究所で博士号取得の後、株式会社フリークアウト (機械学習エンジニア) を経て、現在海洋研究開発機構 (特任研究員)。研究と並行して株式会社 tayo を創業し、アカデミア向けの求人プラットフォーム <http://tayo.jp> のサービスをリリース。興味は微生物の進化 / 生理 / 生態。

問い合わせ
申し込み先



Change Academia 事務局

MAIL : changeacademiajp@gmail.com
WEB : <http://changeacademia.mystrikingly.com/>

参加ご希望の方は右の QR コード、
または <https://forms.gle/xtkcD2LL244scThy8>
よりお申し込み下さい。

